

まえがき

本書は終盤の速度計算の基本をまとめた一冊である。終盤を綺麗に勝ちきれない、逆転負けに悩んでいるという方は多いだろう。終盤の逆転負けの最大の要因は攻めと受けのタイミングを間違えてしまうことである。受けなくともいいところで受けてしまったり、ノーガードで攻め合つて気がついたら負けていたり、攻めと受けの選択は常に難しい。

本書で正確な速度計算を身に着け、しっかりと読みに基づいて攻めか受けかを選択できるようになつていただきたい。

第1章～第4章を通してステップアップしながら最終的に敵玉、自玉双方の攻めと受けを考慮して速度計算する力が身につく構成になつておらず、さらに5章では例外的な特殊形も扱つてある。

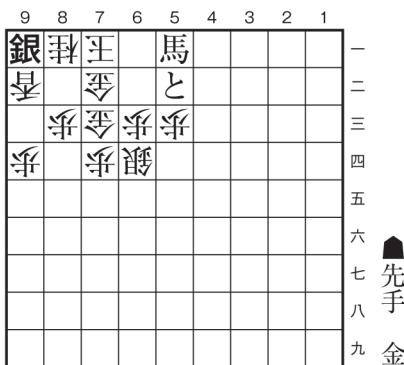
問題集形式のため繰り返し解いていただきたい。なお、問題によっては複数解がある。その場合はもつとも分かりやすい実戦的な手順を正解としている。少々難しい問題もあるが、繰り返し解くことで終盤力は確実に上がるはず。

終盤の速度計算の技術は将棋で最も重要なテーマの1つであり、本書が皆さんの悩みの解決に役立てていただけると幸いである。

石川泰

第9問
解答

【正解図は▲9一銀まで】



② ▲9一金 □同香 ♜9一銀 (正解図)

▲9二金と香車の頭に捨てて、▲9一銀で囲いに入城させないのが急所。□8二玉を許すと上部に逃げられてしまうため捕まえるのが難しくなる。

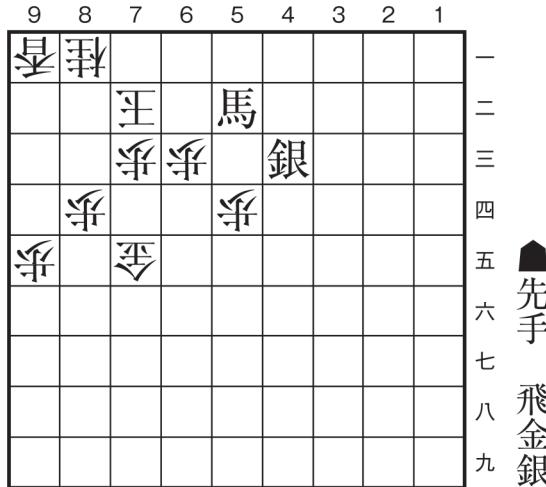
【失敗図は△9三同桂まで】



③ ▲9三銀は△同銀には▲9二金があるが、
△同桂 (失敗図) で寄らない。
④ ▲6一銀は詰めろになつていない。

正解図からは次の▲6一金を受けるには△9三桂しかないが、▲6一と△8一玉▲7一金△9一玉 (△同金は▲同と△同玉▲8一金で詰み) ▲7三馬△同銀▲8一金打で詰み。

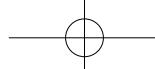
第 14 問



追い回すのではなく一気に決めてください。

候補手

- ① 6一馬 ② 5四銀成 ③ 6二飛



第14問
解説

【正解図は▲8三銀まで】



▲6 一馬で玉を下段に落として、▲8二飛と
挟撃形を築くのが好手順。最後の▲8三銀も大
事な一手で、正解図からは△7一銀は▲5二金
までの詰み、△6二金と受けても▲7二銀成△

① ▲6一馬 ▲同玉 ▲8二飛 ▲7二銀
(正解図)

同金▲8一飛成からの詰みがある。
② ▲5四銀成は△8三玉で上部に押さえの駒
がないため寄せにいく。

③ ▲6二飛は△8三玉 ▲6三馬 ▲9四玉 (失
敗図)とされて端玉の形で粘られると△7四歩
△8五玉という脱出ルートがあり、意外と寄
せにいく。

【失敗図は△9四玉まで】

